



2021年2月9日

各位

会社名 日産自動車株式会社
代表者名 代表執行役社長兼最高経営責任者
内田 誠
(コード番号 7201 東証第1部)
問合せ先 IR部 常務執行役員 辰巳 剛
(TEL 045-523-5523)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月12日に公表した2021年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想について

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,940,000	△340,000	△615,000	△157.18
今回発表予想(B)	7,700,000	△205,000	△530,000	△135.45
増減額(B-A)	△240,000	135,000	85,000	21.73
増減率	△3.0%	39.7%	13.8%	13.8%
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	9,878,866	△40,469	△671,216	△171.54

<修正の理由>

当社は、昨年11月に今年度の年間販売台数を416万5千台と発表しましたが、その後も世界中で新型コロナウイルス感染は拡大し続け、日本においても感染者数が大幅に増加し、緊急事態宣言が発令されるに至りました。それに加え、自動車業界は世界的な半導体不足という課題に直面し、ニーズに見合う生産を行うことが困難な状況となっています。これらを勘案し、当社は今年度の販売台数の見通しを3.6%下方修正し、401万5千台といたしました。

販売台数の減少により、今年度の売上高は前回見通しから3.0%減の7兆7,000億円と予想しています。

営業損失は、第3四半期までの実績と、販売の質の向上、モノづくり、固定費等のコストの最適化による事業構造改革「Nissan NEXT」の進捗を反映し、前回の見通しから1,350億円改善した2,050億円となる見込みです。

営業損失の前回見通しからの増減要因は以下のとおりです。

- 販売台数の減少は570億円の減益要因となります。
- 台当たり販売奨励金や広告宣伝費の削減、販売構成の改善などを含む販売パフォーマンスは600億円の増益要因となる見込みです。

- 販売金融事業は、貸倒引当金の軽減や支払金利の低減などの効果によって、前回見通しから 510 億円の増益要因となる見込みです。
- モノづくりパフォーマンス及びその他は、変動費の改善や固定費削減の進捗により、810 億円の増益要因となります。

当期純損失は、前回見通しから 850 億円改善し、5,300 億円と予想しています。前回見通しからの改善幅が営業損失の改善幅より小さいのは、主に税金の増加によるものです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取りまく経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績が現状の見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上